

まちを見つめ
市民とともに歩む

由利本荘市

議会だより

第42号

平成27年/2015年12月1日発行



平成27年度 未来の科学ゆめ絵画展
秋田県発明協会会長賞受賞作品

- ①画題「点字パット」
佐藤爽良さん(東由利小5年)
- ②画題「まほうのスポンジ」
小沼里歩さん(尾崎小3年)
- ③画題「でんちゅうがたしょうかせん」
白幡千紘さん(尾崎小1年)

CONTENTS 2015 DECEMBER

平成27年 第3回市議会定例会(9月)/平成27年 第3回市議会臨時会(11月)

- P02 委員会構成替え
- P04 9月定例会の概要
- P06 委員会審査報告
- P11 一般質問

- P15 市民の声・議長公務・交際費
- P16 行政視察報告
- P18 議連活動報告
- P19 議会の動き
- P20 全国レガッタ報告・表紙説明・編集後記



発行/由利本荘市議会
編集/議会報編集特別委員会
〒015-8501 秋田県由利本荘市尾崎17番地 電話/0184-24-6386 FAX/0184-27-1793
ホームページ <http://www.city.yurihonjo.akita.jp> 由利本荘市議会 検索

議会議員シニアの部 鳥海山チーム **優勝(3連覇)**
議会議員の部 子吉川チーム **第3位**
壮年男子の部 本荘由利森林組合Bチーム 第3位
成年女子の部 小林工業レディースチーム 第4位

第24回全国市町村交流レガッタ

9/26・27

つばた
津幡大会



全国のボート場を持つ市町村が9月26・27日の両日石川県津幡町に集結、ナックルフォア(コックスと漕ぎ手4名)で距離500mの速さを競った。

議会チームは、6月から練習を開始したものの全員が足並みをそろえたのが市民レガッタを含め3回と少なく、不安の中で大会本番を迎えた。26日の予選は両チームとも1位で通過。2

日目の27日、準決勝において議会議員の部は、全クルー中1位通過。同決勝では惜しくも1位と2秒差の3位。また、議会議員シニアの部決勝は、2位に1秒差で地元津幡町議会を振り切り3連覇を達成。両チームとも漕ぎ手の年齢が250歳(平均62.5歳)と高いにもかかわらず、年齢を感じさせないファイトと結束力、加えて年齢や体力に応じた技術力でカバー出来たことが良い結果となった。

秋田県地方自治 功労者表彰

土田与七郎
議員



平成27年秋田県地方自治功労者表彰式典が、11月9日秋田県庁で行われました。永年にわたる市議会議員としての功績が認められ、秋田県知事から表彰されました。

表紙説明

★画題「点字パット」



さとう そら
佐藤 爽良さん(東由利小5年)
これは、点字パットです。点字パットは、画面のうらに点字がたくさんあり、うき出てきてこれは何かと点字で教えてくれます。スマホのような形です。

★画題「まほうのスポンジ」



おぬま りほ
小沼 里歩さん(尾崎小3年)
ビー玉くらいのスポンジが雨などをためて100ぱいの大きさまでふくらむことができます。そのスポンジの中で水がきれいになってのめる水になります。

★画題「でんちゅうがたしょうかせん」



しらはた ちひろ
白幡 千紘さん(尾崎小1年)
ぼくはテレビでかじのようすをみたときに、しょうぼうしゃがくるまえにすこしでもひをけてくれるでんちゅうがあればいいとおもいました。

編集後記

平成25年12月の臨時号から今号まで、2年間9号にわたって編集に携わってききましたが、この間編集のテーマとして「議会だより」を多くの市民の皆様が開いて戴こう、議会の内容を伝えて行こうとの想いで作業を進めて参りました。
表紙内容の選定、文字の大きさ、レイアウト、写真・余白の構成等について、他の自治体や地元新聞社への研修などを通して、試行錯誤しながらの作業でありました。
次第43号からは、新体制での編集委員会による議会だよりの発行になります。編集内容、編集技術などについては、研修内容などを生かして、より読みやすい議会だよりの発行に努めることとなりますが、何よりも読者市民の声が重要であることは言うまでもありません。
(佐藤徹)

議会報編集特別委員会
委員長 委員 副委員長
委員 渡 佐 今 伊 三 佐 湊
部 木 野 藤 浦 藤
専 隆 英 岩 秀 貴
一 一 元 夫 雄 徹 信

年4回発行/印刷所(濱由利印刷)

市議会からのお願い

市議会では、飲食を伴う会合には案内状に会費を明記していただくように申し合わせております。皆様のご理解とご協力をお願いします。



新しい委員会 構成決まる

委員会
構成替え

第3回市議会臨時会が11月16日開催され、任期満了に伴い各常任委員会と議会運営委員会の委員が新たに選任されましたのでお知らせします。なお、市議会委員会条例の一部改正（議員発案第4号）を可決し、議会運営委員会委員の定数が9人から6人へ変更となりました。また、特別委員会の委員構成にも変更がありましたので併せてお知らせします。

議会運営委員会	議会報編集特別委員会	総合防災公園整備特別委員会
委員長 佐藤 賢一 副委員長 渡部 専一 伊藤 順男 高橋 信雄 佐藤 勇 井島市太郎	委員長 三浦 秀雄 副委員長 伊藤 岩夫 村上 亨 今野 英元 佐々木 隆一 三浦 晃 高野 吉孝	委員長 佐藤 譲司 副委員長 長沼 久利 高橋 信雄 吉田 朋子 高野 吉孝 佐藤 賢一

会派の構成

11月16日
現在

会派の異動がありましたのでお知らせします。
「創風」と「市民クラブ」が10月18日付で解散し、同日付で新会派「市民創風」を結成しました。また、三浦秀雄議員が10月1日付で「高志会」へ所属し、村上亨議員が10月23日付で同会派から脱会し、無所属となりました。

■市民創風（11人）

会長 佐藤 勇	副会長 佐藤 譲	幹事長 渡部 専一	副幹事長 佐藤 徹	監事 三浦 晃	会計 吉田 朋子	監事 高野 吉孝	計 井島市太郎	事 渡部 嘉一
---------	----------	-----------	-----------	---------	----------	----------	---------	---------

■高志会（10人）

会長 伊藤 順一	副会長 佐藤 賢一	幹事長 高橋 信雄	副幹事長 渡部 聖一	監事 長沼 久利	計 土田与七郎	事 梶原 良平	三浦 秀雄	高野 吉孝	湊 貴信
----------	-----------	-----------	------------	----------	---------	---------	-------	-------	------

■公明党（1人）

代表 伊藤 岩夫

■社会民主党（1人）

代表 今野 英元

■日本共産党（1人）

代表 佐々木 隆一

■無所属（2人）

村 上 和	鈴 木 亨
-------	-------

第3回臨時会（11月16日）

承認・可決

専決処分報告.....3件
補正予算.....2件

■専決処分報告

- 一般会計補正予算（専決第3号）
・市道上川内雄勝線道路災害復旧事業費 700万円

- 簡易水道事業特別会計補正予算（専決第1号）
・岩城地域滝俣浄水場の前処理層修繕費 340万円

- 一般会計補正予算（専決第4号）
・黄桜温泉（湯楽里）源泉水中ポンプ修繕費 1982万円

■一般会計補正予算

- 総合防災公園・アリーナ等管理運営調査費 72万円

- 矢島勤労青少年ホーム修繕費 220万円

- 統合家畜市場駐車場整備事業費 255万円

- 矢島地域観光施設備品購入補助金 64万8千円

- 都市下水道管理費 109万2千円

- 下水道事業特別会計補正予算 1053万6千円

総務常任委員会	総務部、企画調整部、出納室、議会事務局、監査委員事務局、選挙管理委員会事務局および消防本部の所管に関する事項ならびに他の委員会の所管に属しない事項
委員長 大関 嘉一 副委員長 高橋 和子 村上 亨 伊藤 順男 吉田 朋子 長沼 久利 佐々木慶治	
教育民生常任委員会	市民生活部、健康福祉部および教育委員会事務局の所管に関する事項
委員長 湊 貴信 副委員長 高野 吉孝 佐々木隆一 梶原 良平 三浦 秀雄 佐藤 譲司 佐藤 勇	
産業経済常任委員会	農林水産部、商工観光部、由利本荘まるごと営業本部および農業委員会事務局の所管に関する事項
委員長 井島市太郎 副委員長 高橋 信雄 鈴木 和夫 三浦 晃 土田与七郎 渡部 功	
建設常任委員会	建設部およびガス水道局の所管に関する事項
委員長 渡部 聖一 副委員長 佐藤 徹 伊藤 岩夫 今野 英元 渡部 専一 佐藤 賢一	



市議会 定例会

“身の丈に合った財政運営”の徹底 平成26年度 決算を認定

9月定例会は、8月31日から9月24日までの25日間の会期で開かれました。
市提出案件は46件で、平成26年度各会計決算認定、人事案件、条例関係、契約締結、平成27年度補正予算などを審議し、原案のとおり認定、同意、可決したほか、2件の請願のうち、継続審査中の1件を不採択、1件を採択、5件の陳情のうち、1件を採択、1件を趣旨採択、3件を不採択としました。また、議員発案（男女共同参画を考慮した議会活動を促進するための、会議規則の一部改正）1件、委員会発案（意見書提出）2件を原案のとおり可決しました。
一般質問では、3日間にわたって9人の議員が登壇し、市政全般にわたり市当局の考えを質問しました。

平成27年度 一般会計補正予算

7億4156万5千円を追加 **合計 479億3075万2千円**

大内総合支所改築
実施設計費 **1050万円**

除排雪費 **3億6858万円**

羽後本荘駅周辺整備
基本設計費 **1100万円**

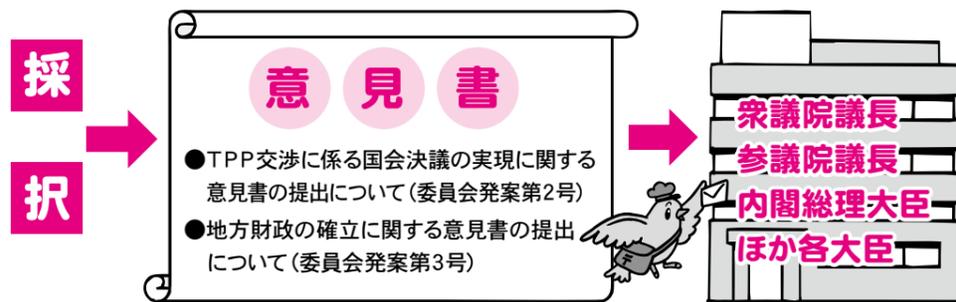
ウッドィホールこだま(石沢地区)増築
調査・設計費 **1235万円**

主
な
も
の



9月定例会で審議した請願・陳情の結果は次のとおりです

また、委員会発案の「意見書」が原案のとおり可決され、関係機関に送付されています。



人事案件に同意

● 人権擁護委員
新任 佐藤 和弘氏
(矢島町)

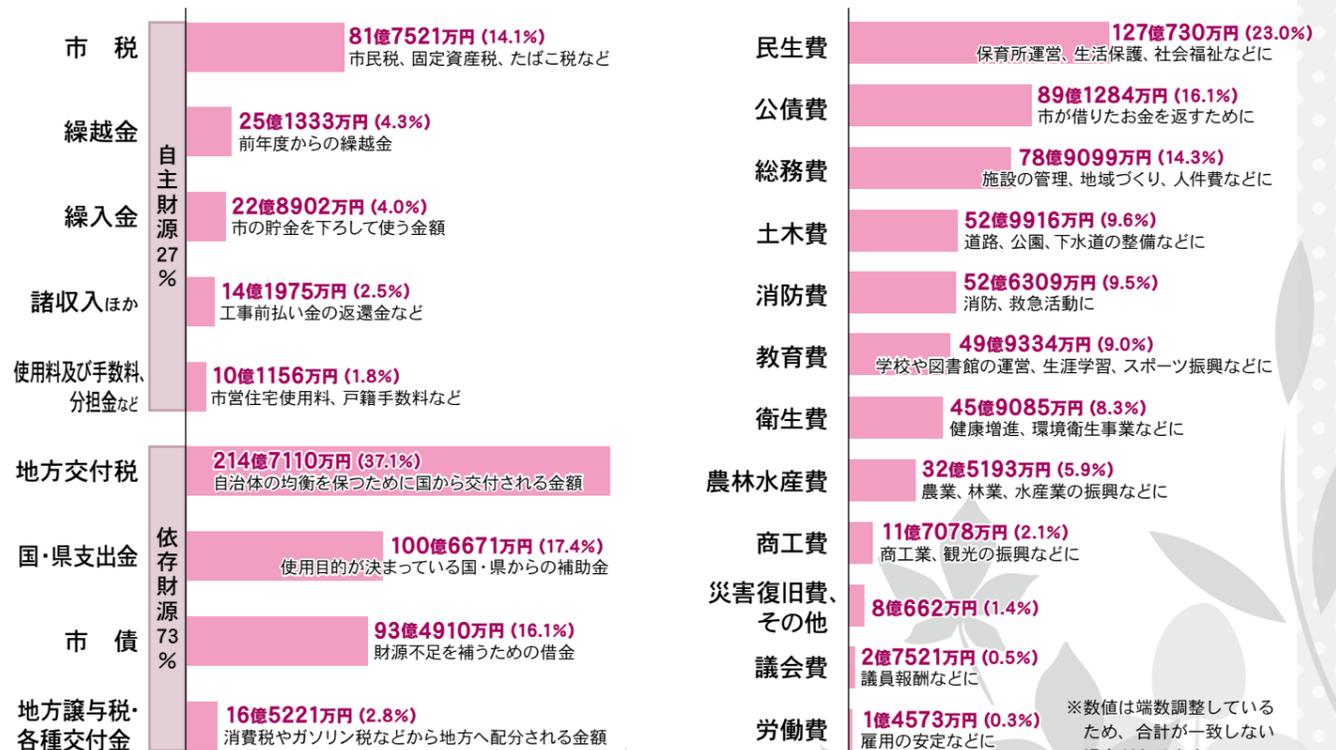
- 採択**
- ◆ TPP交渉に係る国会決議の実現に関する意見書の提出についての請願(請願第2号)
紹介議員 伊藤順男 大関嘉一
 - ◆ 地方財政の確立に関する意見書の提出についての請願(請願第3号)
紹介議員 佐藤 勇 伊藤岩夫
 - ◆ 2016年度地方財政の確立に関する意見書提出についての陳情(陳情第8号)
自治労秋田県本部 中央執行委員長 仙葉 久
由利本荘市職員労働組合 執行委員長 小松幸雄
 - ◆ 秋田しんせい農業協同組合 代表理事組合長 山山勝一
 - ◆ 秋田しんせい農業協同組合 本部長 山山勝一
 - ◆ 2016年度地方財政の確立に関する意見書提出についての陳情(陳情第11号)
小坪慎也
 - ◆ 外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書提出についての陳情(陳情第10号)
秋田県商工団体連合会 会長 小玉正憲
 - ◆ 所得税法第56条の廃止を求める意見書の提出についての陳情(陳情第9号)
秋田県商工団体連合会 小玉智子
 - ◆ 鳥海ダム事業に「戦略的環境アセスメント(SEA)」の実施を求める意見書提出についての請願(継続審査中の請願第1号)
紹介議員 今野英元
- 不採択**
- ◆ 憲法に違反する安全保障関連法案を廃案とするよう関係機関への意見書提出を求める陳情(陳情第12号)
秋田県平和委員会 代表理事 川野辺英昭
 - ◆ 鳥海ダム事業に「戦略的環境アセスメント(SEA)」の実施を求める意見書提出についての請願(継続審査中の請願第1号)
紹介議員 今野英元

平成26年度 一般会計決算

実質単年度収支は **20億3145万円の黒字**

歳入 **579億4799万円**

歳出 **553億784万円**



議案の表決結果一覧表

※採決で賛否が分かれた案件を掲載しております。ほかは全て全会一致で可決されました。
※鈴木和夫議長は、採決に加わりません。 ※社民党・社会民主党 共産党・日本共産党

議案	高 志 会										創 風				市民クラブ				公明党		社民党		共産党		無所属		表決数		議決結果
	伊藤順男	佐藤賢一	高橋信雄	渡部聖一	湊貴信	土田与七郎	村上亨	高橋和子	長沼久利	梶原良平	大関嘉一	佐藤謙一	渡部専一	高野吉孝	渡部功	佐々木慶治	佐藤勇	吉田朋子	井島市太郎	佐藤徹	三浦晃	伊藤岩夫	今野英元	佐々木隆一	三浦秀雄	鈴木和夫	賛成	反対	
議案第130号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	○	23	1	可決
議案第131号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	○	23	1	可決
議案第140号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	○	23	1	可決
陳情第9号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	1	23	不採択
陳情第10号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	○	×	1	23	不採択	

※議案第130号：由利本荘市個人情報保護及び電子計算組織利用に関する条例の全部を改正する条例案
議案第131号：由利本荘市手数料条例の一部を改正する条例案
議案第140号：平成27年度由利本荘市一般会計補正予算(第6号)

平成28年3月定例会会期(予定) 2月15日(月)～3月17日(木)
2月5日(金)までに受理する請願・陳情を審議する予定です。



教育民生 常任委員会

2040年に 火葬件数最大

Q. 市斎場再編基本構想について。

A. 本市には4カ所の斎場があり、由利斎場は築29年、東由利斎場は築25年と施設全般の老朽化が著しい。

今後、高齢化が進み、2012年に1181件だった火葬件数が、2040年には1969件となる予測データがある。2040年を計画目標年次として基本構想を策定する。



老朽化が著しい東由利斎場

物品売払収入 8420万円

Q. 本荘清掃センター資源ごみ売却収入について。

A. 平成26年度は、鉄プレス1183万円、アルミプレス2592万円、紙類4645万円で総額8420万円の収入となっている。このほか、ペットボトルの再商品化収入933万円があり、ごみの分別化のさらなる推進が必要である。



プレスされた資源ごみ

岩城小学校プールの傾き 村田設計に修復を求める

Q. 岩城小学校プールの傾きについて。

A. このプールは、平成26年1月に工事費約8500万円で完成した。ことし7月8日のプール授業開始日に学校職員が傾きを発見し、プールの高低調査で最大72mmの差があることがわかった。

傾きの原因として施工上の問題はなく、村田設計では地盤改良をしたが想定以上に不安定な状況であったとし、責任を認めている。また市顧問弁護士も、田んぼへの盛土、施工であり、建築の専門家として当然想定できたと、設計の責任を結論づけた。

今後の対応について、村田設計より

①ジャッキアップして基礎上部を嵩上げし、プールの傾きをもどす。

②基礎下に注入剤を投入し、基礎の傾き、プールの傾きをもどす。

③傾き沈下している部分を撤去し、やり直しをする。

の3つの修復案が提案されている。9月のシーズン終了から一年間、月一度の経過計測を行い、来シーズン終了後に補修を行う予定。



傾きが確認された岩城小学校プール

平成26年度 子育て支援金

総支給額は3040万円

Q. 平成26年度子育て支援金事業費について。

A. 子育て支援金事業とは、第2子へ10万円、第3子以降へ20万円支給するものである。平成25年度との比較は次の表のとおりであるが、いずれも減少傾向である。

	平成26年度	平成25年度	前年との比較
第2子(10万円)	168人	186人	△18
第3子(20万円)	68人	84人	△16

いよいよスタート!! マイナンバー制度

総務 常任委員会

第三セクターを検証

Q. 本市の第三セクター経営検証委員会の設置目的は。

A. 現在7社ある第三セクターの今後の在り方や経営状況などに関し、専門的及び客観的視点から、現状や今後の分析、助言などを行うことを目的とする。

Q. 委員会を設置する背景は。

A. 人口減少を背景に第三セクターの経営は厳しさを増しており、これまで第三セクターの統合、指定管理料の増額や新規の誘客促進などにより経営支援を行ってきたが、累積赤字の増額に歯止めがかからない第三セクターもあるため、地域振興に資するという第三セクターの設置目的に立ち返り、組織の存続も含め、抜本的な対策を検討する必要があるからである。

Q. 委員会の概要は。

A. 税理士や公認会計士などの専門委員6名、市民委員2名の8名以内で委員会を構成、検証の内容は、市内7社の第三セクターを対象に①経営状況の把握と分析②設立目的と現状の比較③今後の方向性と部門の統合や廃止などの提案を行う。

Q. マイナンバー制度とは。
A. マイナンバー制度は、国民一人一人に割り当てられた12桁の番号で個人情報を管理し、行政を効率化し、国民の利便性を高め、公平・公正な社会の実現を図るものである。

Q. なぜ必要なのか具体的に。
A. 行政機関や地方公共団体などで様々な情報の照合、転記、入力などに要している時間や労力が大幅に削減され行政の効率化が図れる。
また、国民の行政手続きが、添付書類の削減などにより簡素化され、負担が軽減される。
さらに、所得や社会保障関係などの行政サービスの受給状況が把握し易くなるため、負担を不当に免れることや給付を不正に受けることを防

止するとともに、本当に困っている方にきめ細かな支援を行うなど、公平・公正な社会の実現が図れる。

Q. マイナンバーが必要な場面は。
A. 平成28年1月以降の次の時に必要となる。
①年金、医療、介護、生活保護、児童手当などの社会保障関係の手続き時。
②税務署などに提出する書類への記載などの税務関係手続き時。
③被災者生活再建支援金の支給など災害対策関係の手続き時。

Q. 今後のスケジュールは。
A. 平成27年10月から、マイナンバーの通知と共に、個人番号カード交付申請書が市民に郵送される。

平成28年1月から、市役所窓口で本人確認の上個人番号カードが交付され、個人番号の利用が始まる。

Q. 個人情報の漏えい対策は。
A. 個人情報情報は今までどおり、年金情報は年金事務所、国税情報は税務署で分散して管理する。また、本市においても、情報セキュリティ対策を全面見直しするなど、その対策に万全を期する。

Q. 基金の利用は。
A. 寄附者より、地域の発展に資する次の
○安全・防災 ○教育・福祉 ○スポーツ ○環境・インフラ ○産業・観光 ○文化・芸術の事業に係る「改修費・備品購入費」に限定されており、平成28年度当初予算より事業を選択し充当する。

Q. 寄附金の額は。
A. 寄附名義の㈱ユースエナジー西目から、平成27年度から320万円を3カ年で960万円。
㈱ユースエナジー由利高原から、平成28年度から580万円を3カ年で1740万円の、両社合わせて2700万円の寄附金となる。

Q. ㈱ユースエナジーホールディングスとはどんな会社か。
A. 東京都港区に本社があり豊田通商と東京電力の合弁会社で、風力や太陽光発電事業をグローバルに展開しており、地域社会と良好な関係を構築しながら再生可能エネルギーの普及拡大に取組んでいる会社である。
なお、グループの㈱ユースエナジー西目は、風力発電15基3万KWの規模で平成16年から操業しており、㈱ユースエナジー由利高原は、風力発電17基5万1千KWで、平成28年1月から操業予定である。

地域貢献基金を設置し 地域発展に活用

Q. ユースエナジー地域貢献基金条例とは。
A. ㈱ユースエナジーホールディングスからの寄附金を活用した基金事業を展開するため、基金条例を制定し、その寄附金を積み立てるものである。

Q. ㈱ユースエナジーホールディングスとはどんな会社か。
A. 東京都港区に本社があり豊田通商と東京電力の合弁会社で、風力や太陽光発電事業をグローバルに展開しており、地域社会と良好な関係を構築しながら再生可能エネルギーの普及拡大に取組んでいる会社である。
なお、グループの㈱ユースエナジー西目は、風力発電15基3万KWの規模で平成16年から操業しており、㈱ユースエナジー由利高原は、風力発電17基5万1千KWで、平成28年1月から操業予定である。

建設 常任委員会

異常気象に対応した 水道水の確保は

黒森川第1貯水池の
状況を確認する委員
(9月8日)



Q. 給水制限実施の目安は。

A. 給水量の段階に応じた夜間減圧や時間断水などの給水制限を実施する場合は、濁水の発生による捨水の増加や技術的に制限調整が困難であるほか、医療や産業活動に影響が大きいと判断した場合、最大限の節水要請を行い給水制限は実施しない方針である。



黒森川第1貯水池の状況(7月28日現在、貯水率51.9%)

水不足は解消されるか

Q. 1日5千m³の給水で足りるか。

A. 利用する水路の送水量に制限があることや大瀧川の流量を加味し、灌漑期は1日5千m³が限度である。水道事業としてはできるだけ多く補給したいところであるが、長期間にわたり補給できることを考えて現時点では十分と考える。



大瀧川からの取水の様子

平成27年7月21日～10月31日、取水量は、1日当たり概ね5千m³、補給原水の対価は無償である。

Q. にかほ市と手続きはどのように。
A. 7月15日に、にかほ市長に「水道用原水臨時補給」お願いの協力要請をした。
7月16日に、にかほ市農林水産建設部建設課と事務協議のうえ申請した。
取水場所は、大瀧川「釜ヶ台地内」で、期間は、

臨時取水の 手続きはどのように

Q. 今後の降雨がない場合の対応は。
A. 節水の要請を強化しながら原水確保に努める。
四角井戸灌漑用水の補給のほか、にかほ市との協議のもと、大瀧川補給水の増量を行う。

にかほ市と 協議のもと増量

利用減で厳しい 矢島スキー場



Q. 平成26年度鳥海高原矢島スキー場の収支状況は。

A. 歳入では、リフト収入(来場者数5万4450人)・チケットホルダー物品売り上げなど4107万6千円である。歳出ではスキー場運営費として5020万3千円で、主な支出は、賃金、燃料費、電気料やリフト整備業務委託料である。なお、鳥海オコジョランドスキー場廃止に伴い、約350万円の収入増があったものの前年比8.2%の減額であった。

一般会計からの繰入金は、1億271万4千円で、公債費(財政融資資金償還金元金・利子)は9355万4千円で、平成26年度末償還金残高は、3億9851万6千円である。



厳しい経営が続く矢島スキー場

鳥海山麓の二次アクセスの確保

Q. 小型バス3台の購入とは。

A. 鳥海山麓をはじめとする各種観光ツアー、ならびに桑ノ木台湿原のシャトルバス運行を目的に小型バス(29人乗り)を太平興業株式会社由利営業所から購入するものである。

冬場の観光誘客や冬期イベントの雪道での走行安定性を向上させるため差動制限装置(LSD)付きの車両を選定した。車両デザイン(ラッピング作業)や安全運行管理機器作動試験を行い、納期は平成28年2月15日である。

定住促進奨励金制度の拡充

Q. 由利本荘市定住促進奨励金の制度改正とは。

A. 首都圏を中心とした県外からのさらなる移住を促進するため、住宅取得者に対する支援策の交付要件の見直しや移住世帯に対する支援策を創設するものである。
交付金額は、住宅取得支援型50万円(従来のともしび基金)に加え、賃貸住宅の入居者には、移住世帯支援型として30万円を新設し、平成27年10月1日から施行する。

好評のプレミアム商品券

Q. 由利本荘市プレミアム付き商品券の販売・換金数は。

A. 平成27年7月1日から販売。7日に完売した。しかし生活支援のための購入支援券は、商品券完売などにより、6924世帯(49.8%)で未利用だった。
平成27年8月17日現在において商品券の使用割合は、一般店39%、大型店19%、未回収42%になっている。(発行総数60万枚)

農業夢プランで 秋田を元気に

Q. あきたを元気に農業夢プラン平成26年度の実績は。

A. 6540万7千円の事業費で、農政関連では、アスパラガスやリンドウの新植、パイハウス7棟や菌床しいたけなど関連機械の導入、畜産関連では、繁殖牛、乳用牛の導入のほか、牛舎、堆肥舎の新築や生産性向上機械などの導入を図った。



肉用牛(繁殖農家)の牛舎内